

## 理学療法研究法

[講義・演習] 第2学年 後期 必修 1単位

《担当者名》○大須田祐亮 osuda@hoku-iryo-u.ac.jp 中村宅雄

### 【概要】

科学的な視点をもってEBMにもとづき理学療法学を実施する上で必要となる研究法の基本的な考え方を学修する。研究の構想および実践に必要な倫理、実験計画、データ分析などの知識を学修する。また、論文作成時に必要な文献検索方法、論文の読み方などについても学修する。

### 【学修目標】

#### 【一般目標】

エビデンスに基づく理学療法を実施するために研究方法を理解し、読んだ論文の内容を説明し、批評できる能力を身につける。

#### 【行動目標】

1. 理学療法における研究の意義と必要性を説明できる。
2. 研究方法の概略を説明できる。
3. 学術論文の構成を説明できる。
4. 学術論文の検索ができる。
5. 学術論文の読み方を理解し、学術論文を批評できる。

### 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	研究とは	理学療法における研究の意義と必要性	大須田祐亮
2	論文検索	学術論文の検索 演習	大須田祐亮
3	研究の進め方	テーマの選択	大須田祐亮
4	研究の進め方	対象の選択	大須田祐亮
5	研究の進め方	研究デザインの種類、エビデンスレベル	大須田祐亮
6	研究の進め方	データ測定	大須田祐亮
7	研究の進め方	統計処理	大須田祐亮
8	研究の進め方	統計処理	大須田祐亮
9	学術論文の読み方	学術論文の読み方	大須田祐亮
10	学術論文の読み方	学術論文の批判的吟味 演習	大須田祐亮
11	研究倫理	研究倫理	中村宅雄
12	その他の研究	システマティックレビュー、メタアナリシス、シングルケーススタディ、症例報告	大須田祐亮
13	研究活動の実践	理学療法研究の実際	大須田祐亮
14	研究活動の実践	理学療法研究の実際	大須田祐亮
15	論文作成	学術論文の書き方	大須田祐亮

### 【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

### 【アクティブ・ラーニング】

導入している

### 【評価方法】

筆記試験 85%

小テスト・提出物など 15%

試験に関するフィードバックの方法

- ・定期試験および追再試験実施後、問合わせがあった際には対応する。

### 【教科書】

対馬栄輝 編著 「最新理学療法学講座 理学療法研究法」 2021年

**【参考書】**

福原俊一 「臨床研究の道標 上」 健康医療評価研究機構 2013年  
福原俊一 「臨床研究の道標 下」 健康医療評価研究機構 2013年  
Portney L 他 著 「Foundations of Clinical Research: Applications to Practice」 Pearson 2008年  
野口ジュディー 他 著 「Judy先生の英語科学論文の書き方」 講談社 2015年  
内山靖 他 編 「理学療法研究法」 医学書院 2013年  
岩本隆茂 他 著 「シングル・ケース研究法：新しい実験計画法とその応用」 勁草書房 1990年  
対馬栄輝 「医療系研究論文の読み方・まとめ方」 東京図書 2010年

**【備考】**

講義終了時に小テストや提出物などの課題を設定することがある。  
課題は、かならず期限までに解答・提出すること。  
講義進行の妨げになるような行為が見られた場合は退席を命じ、出席を認めないことがあるため注意すること。

**【学修の準備】**

指定された教科書を用いて、次回授業範囲を必ず予習すること（80分）。  
復習は、プリント、講義メモ並びに教科書、参考図書を活用して学修を深めること（80分）。

**【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】**

（DP5）常に変化する社会の要請を理解し対応できるよう生涯にわたって研鑽に努め、自らの専門領域を発展させる姿勢と自己学修力を身につけている。

**【実務経験】**

大須田祐亮、中村宅雄（理学療法士）

**【実務経験を活かした教育内容】**

医療機関、社会福祉法人での実務の中で行ってきた研究活動の経験を活かして、理学療法士として身につけておくべき研究に対する理解や研究の実践に必要な基本的な考え方について講義する。

**【その他】**

この科目は主要授業科目に設定している